



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 181 号

発行 令和 3 年 11 月 10 日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227

Eメール gikai@vill.kamikoani.lg.jp

ホームページ

<https://www.vill.kamikoani.akita.jp>



かみこあに保育園さつまいも掘り

9月定例会

- 令和 2 年度一般会計他 7 会計の決算概要 P 2
- 令和 2 年度一般会計主要施策の成果 P 3
- 令和 3 年度補正予算、条例関係、陳情、人事案件 P 5
- 常任委員会付託議案審査過程における意見要望及び当局回答… P 6
- 一般質問 3 氏が登壇 P 9
- 議会の動き、編集後記 P 12

原案を認定・可決

9月7日から16日まで、10日間の日程で、令和3年第4回定例会が開催され、令和2年度各会計決算など18案件を審議し、すべて原案のとおり全会一致で認定・可決しました。

一般質問は3人が登壇し、9項目について問いました。

また、最終日の本会議には、新型コロナウイルス関連補正予算、小型ロータリ除雪車購入契約、人事案2件が追加提案され、全会一致で可決・同意しました。

◆決算の概要◆

令和2年度の一般会計決算は、歳入29億2,257万4千円、歳出27億9,117万8千円、翌年度へ繰り越す財源を除いた実質収支額は1億3,139万6千円の黒字決算となりました。

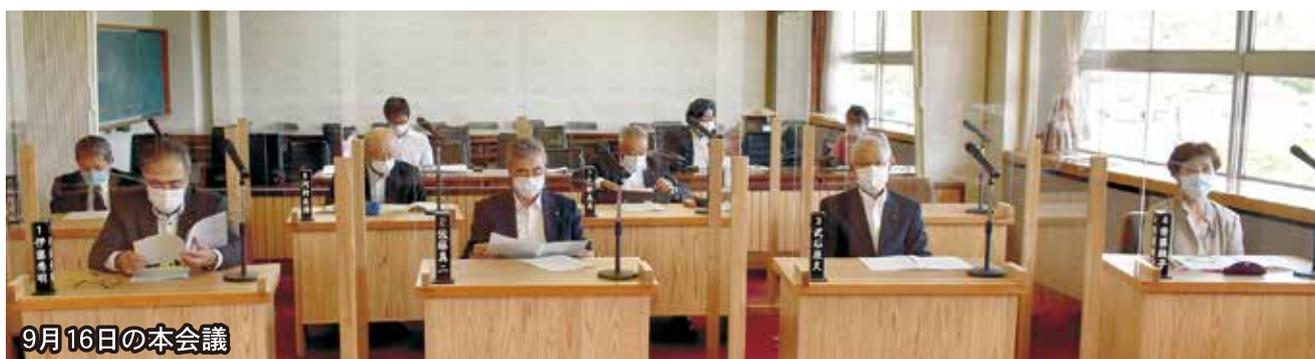
決算規模を前年度と比較すると、歳入では4億8,829万9千円、歳出では4億2,799万8千円と共に増額となり、前年対比では歳入が16・3%、歳出16・9%上回る決算額となりました。

◆財政運営の状況◆

経常的収入のうち一般財源は16億8,343万円で、歳入総額の57・6%、前年度より804万7千円増となっております。

その主なるものは、地方交付税の増額によるものです。

経常的な歳出のうち、一般財源は16億3,071万3千円で、歳出総額に占める割合は58・5%となっております。



令和2年度 上小阿仁村各会計歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	繰越財源	実質収支額
一般会計	29億2,258万円	27億9,118万円	1億3,140万円	0万円	1億3,140万円
特別会計	12億2,878万円	11億8,952万円	3,929万円	80万円	3,846万円
国民健康保険事業	3億2,863万円	3億2,863万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険診療施設	1億1,251万円	1億1,251万円	0万円	0万円	0万円
簡易水道事業	7,980万円	7,853万円	127万円	0万円	127万円
農業集落排水事業	6,356万円	6,302万円	54万円	0万円	54万円
下水道事業	6,002万円	5,917万円	85万円	80万円	85万円
介護保険事業	5億4,016万円	5億4,15万円	3,601万円	0万円	3,601万円
後期高齢者医療	4,410万円	4,351万円	59万円	0万円	59万円
合計	41億5,135万円	39億8,070万円	1億7,065万円	80万円	1億6,985万円

※端数調整のため、計と内訳が一致しない場合があります。

主要施策の成果

新型コロナウイルス関係

新型コロナウイルス関連の事業は、一人につき10万円を交付した特別定額給付事業については、2217人にに対し交付、事務費も合わせた総額は2億2347万円となりました。

また、感染拡大防止や影響を受けている地域経済、住民生活の支援を目的とした、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業は総額1億7461万円、合計で3億9808万円が国から交付され、事業が行われました。

○主な新型コロナウイルス臨時交付金事業の内容

事業名	金額
事業継続応援給付金	970万円
診療所感染症対策	484万円
感染拡大防止事業	339万円
テレワーク環境導入等整備	481万円
防災活動支援	1,275万円
事業継続応援給付金（追加分）	860万円
地域応援商品券発行事業	4,812万円
正規雇用維持応援給付金	470万円
診療所感染症対策	568万円
小中学校情報機器・通信整備	1,206万円
議場感染拡大防止	732万円
特別定額給付金追加給付	4,438万円

決算審査報告

税負担の公平性 滞納額の対応強化を求める

一般会計及び特別会計を通じ、その計数には誤りはなく、証拠書類は適切に処理され妥当と認められます。

滞納者は村税、国保税、住宅使用料、農業集落排水使用料、介護保険料とも、長年にわたり固定化しているため、その対策を至急講じていただきたい。

財政構造の硬直化が進んできております。経費の節減は勿論のこと行政の簡素化、効率化に努め、将来を展望した計画的な行財政運営によって、健全な財政の維持確立を図られることを望みます。

(審査の総評より抜粋)

代表監査委員 鈴木 義廣



総務費

●秋田県町村電算システム
共同事業 4433万円

●秋田県内全12町村加入による共同電算システムの運用を図りました。

●防災広報無線デジアナ改修工事 1826万円

●老朽化と周波数帯使用制限到来が近いことから、デジタル無線システムへの更新を

行いました。(大海、小田瀬)

●道の駅の管理委託料 653万円

●集落振興交付金 284万円
●集落の振興を図るため交付しました。

●生活バス路線維持費 1985万円

●生活路線バスの赤字対策として補助し、バス運行の維持に努めました。

●集住型宿泊交流施設(コアニティ)管理費 1413万円

民生費

●高齢者世帯等除雪費助成金 159万円

●作業費用の3分の2を助成する制度で、48件の利用がありました。

衛生費

●インフルエンザ予防接種料 234万円

接種者自己負担の全額を支給しました。コロナ感染症対策が徹底され、インフルエンザの流行はありませんでした。

●ごみ処理・収集運搬業務委託料 3454万円

●し尿処理事業 764万円

北秋田市周辺衛生施設組合に対し、人口・搬入割合に応じて負担しました。

農林水産費

●多面的機能支払交付金 1205万円

共同活動を通じ、各集落の農地・農業用水等の資源や農村環境の保全が図られました。

●中山間地域等直接支払交付金 959万円

中山間地域における生産条件の不利な団地の農地に対して、収益の向上や環境整備が図られました。

●野外生産試作センター管理費 1366万円

生産物売払収入は180万円でした。

●森林経営管理制度意向調査業務 660万円

森林経営管理法に基づき、森林所有者へ意向調査を実施しました。（森林環境譲与税を使用）

商工費

●資格取得支援事業補助金 77万円

就業機会の拡大、在職者の能力向上のため、資格を取得した費用の一部を助成しました。

土木費

●除雪費 6770万円

冬期間の交通確保のため、生活道路を中心に実施しました。

●社会資本整備総合交付金事業 6192万円

国の補助事業により、沖田面地区の舗装補修や老朽化した2橋りょうの補修を行いました。

●河川洗堀対策工事 693万円

河川の浚渫及び護岸嵩上げ等の整備を行いました。

教育費

●高校生就学応援金 384万円

保護者の経済的負担軽減を図りました。

●奨学資金貸付金 312万円

経済的理由で修学が困難とならないよう修学資金の貸与を行いました。

●小中学校教材備品購入（教育用コンピューター関連を除く） 192万円

小中学校の学習に使用する教材備品を購入しました。

●学校給食費補助金 466万円

学校給食費を助成し、保護者負担の軽減を図りました。

消防費

●北秋田市への消防事務委託料 1億1150万円

年度別不納欠損額の状況

区分	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
村民税	①	197千円	75千円	294千円	212千円	185千円
固定資産税	②	743千円	799千円	1,098千円	1,018千円	971千円
軽自動車税	③	16千円	28千円	21千円	11千円	33千円
村税計	① + ② + ③	956千円	902千円	1,413千円	1,241千円	1,189千円
国民健康保険税		1,450千円	979千円	933千円	806千円	149千円

地方交付税の確定により 基金積立金を計上 全会一致で可決

令和3年度一般会計補正予算は、総額1億7681万5千円と、最終日に273万7千円を追加し、補正後の総額は29億566万7千円になりました。歳出の主な内容は、次のとおりです。

一般会計

- 保健センター内部改修工事 386万円
 - 光ケーブル移設工事 363万円
 - 財政調整基金積立金 6570万円
 - 減債基金積立金 5992万円
 - 造材事業委託料 472万円
 - 林業専用道開設工事 361万円
- 【追加議案】
- 正規雇用維持応援給付金事業 342万円



保健センター改修箇所を視察

新型コロナウイルス関連で正規雇用を維持している事業者へ経営を支援します。

- 保健センター空調設備工事 352万円

特別会計

特別会計補正予算は、6つの特別会計で総額3665万5千円を追加。補正後の総額を13億7704万3千円としました。

条例関係等議案

■ 上小阿仁村過疎地域持続的発展計画（令和3年度〈令和7年度〉の策定）

■ 上小阿仁村過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

契約議案

- 小型ロータリ除雪車購入契約議案を可決しました。
- 契約相手方 暁商工株式会社（北秋田市）
- 契約金額 3784万円

陳情

3件

採択

◆ 現金自動預け払い機（A

TM)の設置に関する陳情

〔提出者〕

上小阿仁村商工会
副会長 小林 義弘
副会長 武石 俊仁

不採択

◆ 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

〔提出者〕

「新しい提案」実行委員会責任者 安里 長從
全国青年司法書士協議会 会長 阿部 健太郎

◆ 沖縄防衛局による沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混じった土砂の採取計画を止めることを国に要請して求める意見書の提出要請に関する陳情書

〔提出者〕

沖縄に心答する会@あきた 代表 兵藤 知子

人事案件 2件

9月16日の本会議に任期満了に伴う人事案2件が追加提案され、無記名投票を行った結果、いずれも全会一致で同意、適任としました。

◆ 教育委員

嶋森 憲雄氏（杉花）
（昭和28年4月26日生）
任期・令和3年10月1日〜令和7年9月30日



◆ 人権擁護委員

清水 博司氏（大海）
（昭和27年6月27日生）
任期・令和4年1月1日〜令和7年12月31日



高額滞納者・未納者に対しては強制執行も視野に入れ、平等・公平性を図り滞納金を減少させるよう努力するべき

総務産業常任委員会に付託された議案について、9月7日から7日間審査を行い、16日には審査過程における意見・要望に対する質疑応答を行いました。意見等の内容は、次のとおりです。

決算認定議案

滞納繰越金、未収金関係について

▼意見 令和3年度会計滞納繰越額2503万6千円、現年度分552万9千円となり、50万円以上の滞納者が7人、100万円以上の滞納者が5人もおり、村民の平等・公平性を図るためにも強制執行も視野に入れ、確実に滞納金が減少するよう、各課職員一同、努力するべきである。

▼回答 滞納繰越金、未収金につきましては、村民の平等・公平性を欠かないよう滞納の状況や財産の状況、回収方法等について債権管理検討委員会において協議し、納付誓約においても完納につながる納付相談を進めてまいります。

歳出全般の不用額について

▼意見 監査委員も指摘しているように1億5233万5千円は、近年にない異常な額となっている。入札の請負差額は他に流

用するべきものではないので、速やかに減額処理されたい。
併せて、当初予算の事業執行などは出来るだけ早く実行し、差額などについても議会の毎に減額処理すべきである。

▼回答 予算編成に関しては、積算根拠を精査したうえで適正な予算計上に努めてまいります。

また、速やかな予算の執行に努めるとともに、決算見込みがある程度確定した段階で、速やかに減額補正に努めてまいります。

ふるさと納税について

▼意見 令和2年度ふるさと納税寄付額（892人）は1527万3千円。そのうちポータルサイト決済代行等委託料が527万5千円、返礼品が429万4千円となっている。

ポータルサイト代行委託料率が高すぎる。他の業者の率を調べ、安い業者を選定するべきである。又、返礼品については、かみこあに観光物産79万5千円、秋田たかのす農協350万円となっている。農協の返礼品リストから「米」を取り下げ、村内農家の所得向上のためにも、米の返礼品はかみこあに観光物産にするべきである。

▼回答 ポータルサイト等の手数料については、会社の実績や信用性を考慮しながら比較検討してまいります。

また、農協の返礼品リストから「米」を除外するということがありますが、農協の占める割合が高いとい

うことは、寄付者のニーズがあるという裏付けでもあります。

このことから、可能な限り地場産品を活用した返礼品の活用に努め、村産の米の取扱数量の拡大が図られるよう、引き続き「かみこあに観光物産(株)」と協議してまいります。

コアニティーの運営について

▼意見 令和2年度から宿泊管理から機械警備に切り替えとなったが、機械警備なしで、毎日宿直体制とした場合でも、約70万円の増額になるが、村内雇用をはかるため、宿直体制にするべきである。又、レンタルルームもいまだ利用者がいない状況である。移住体験のできる居住部分の利用者もいない。電子媒体等を利用し、広く呼びかけるべきである。

▼回答 コアニティーの管理運営体制については、経費を比較しながら対応して

まいります。併せて、レンタルルームと移住体験等については、様々な場面で周知を行うとともに、ホームページや広報でも広く周知してまいります。併せて関係人口コーディネートのある地域おこし協力隊のSNSの活用も図りながら情報発信に努めてまいります。

保守点検委託料の見直しについて

▼意見 各課、各施設項目の毎年度の経常的な設備やコンピュータ業務等、保守委託契約については、1社の随意契約など、固定されている面がある。総計すると莫大な予算支出である。各課、各施設での共通する業務委託は、まとめて入札することや事前調査をするなど、適正化を図り、予算支出の低減を図るべきである。

▼回答 新しいシステムを導入する際は、入札によって執行しております。清掃や設備点検などの保守につ

いては、一括発注しながらコスト削減に努めているところでありますが、コンピュータの保守についてはシステムの構築という特殊な事情等が発生することから、どうしても特定の業者との随契となります。今後、システムを導入する際には、イニシャルコストとランニングコストを比較しながら検討してまいります。

若者センター管理費について

▼意見 令和元年度より5年間、沖田面集落に指定管理制度に基づき、365万5千円の固定額を委託料として支払うことになっているが、利用者の減少と併せて人件費についても重複している。次年度からは指定管理期間と管理料は区別するべきであり、委託料金については前年度の実績により支払うべきである。

▼回答 2年前に沖田面集落と5年間の契約をする事と、金額を議決していただ

きました。この契約が基本で、5年間固定である事は、制度上、今も変わり無いと考えます。

しかしながら、年度によって様々な事がありますので、今後は運営状況について年度終了毎に次年度の管理内容充実に向けた協議をしてみたいと思います。

バス路線維持費について

▼意見 秋北バス会社に1985万4千円を支払っているが、利用者の数は激減しており、空バスも見受けられる。県の補助金も一定額となりつつあり、高齢化が進んでいる村にあっては、主路線だけに変更し三種町のような村営バスに切り替えるべきである。

▼回答 地域公共交通の取り組みについては、それぞれの地域の実情や地理的な面から様々な代替バスが運行されており、村にあった交通体系、利用者のニーズに即した運行が求められております。

村営バスを運行するにしても、車両の維持費や運転手の確保など、非常に高いハードルとなっており、慎重に対応してまいります。

また、村だけの路線ではないため、北秋田市との協議も必要になりますので、ご理解をお願いします。

消防費などの備品購入について

▼意見 コロナ対策の緊急性と言う名目で高額な備品を村内業者に発注しているが、村内には限られた業者しかない事から、村内業者育成とは言うものの果たして適正な価格なのか疑問である。

このことから、北秋田市周辺の業者も入札に参加させるべきである。

▼回答 備品の購入等につきましては、緊急性や村内業者育成の観点から第一に村内業者、次に地域性を重視し発注してりましたが、今後は、発注内容や金額に

応じた発注を検討してまいります。

上小阿仁小中学校地下油槽改修工事について

▼意見 予定価格が335万2千円に対して、最終請負額が、459万8千円となっている。予算額より124万6千円と高額な追加となっているにも関わらず、議会に報告もなく、決裁されている。

変更契約が予算額を超過する場合は、議会と相談の上、執行するべきである。

▼回答 当該工事の内容には、地下タンク及び埋設配管定期点検業務が計上されております。これが合格でなければ消防署からの使用許可が下りないからです。今回、残念ながら漏れが確認されましたので、早急に配管を調べ、箇所を特定して修繕する事が必要となりました。毎年行っているこの点検は、昨年まで異常なしでしたので、まさかの追加工事発生となりました。

当時、秋田市内の病院で療養中の中田村長とネットや電話で複数回にわたり対策を協議しました。想定外の工事の発生である事や、11月を間近に控え寒さがましてくる中、児童生徒を第一に考えた場合、別工事発注による工事完成の遅れで、子供たちを寒さの中で勉強させる事を避ける為にも、変更契約がベストと考え実施したものです。

奨学資金貸付金の増額について

▼意見 貸付額については、平成20年3月に改正されているが、今から10年以上前に改正されたものである。物価上昇や消費税増税などもあるので、検討するべきである。

▼回答 平成24年に短大と大学分の貸付額を増額改定しておりますが、この時、高校分については、変更なしとしております。

現状は、近隣市町と比べて決して低い額ではありません。

せんが、高校分については13年間改訂しておりませんので、検討してまいります。

学校のデジタル化推進について

▼意見 G I G A スクール構想のもと、導入されたタブレット端末の利用をさらに進め、リモート授業ができるような家庭内のW i F i 環境を整える必要がある。また、情報の共有化等、電子黒板の効果的な利用のため、職員のスキルアップを図るべきである。

▼回答 P C タブレットについては1人1台を達成しましたが、現段階では、先生、児童・生徒ともに、リモート授業が直ぐに始められるレベルまで少し時間が必要とのことでありませぬ。

リモート授業に向けてのスキルアップについて学校と連携して推進を図っていく必要があると思ひます。

W i F i 環境については、例えば整備されていない家庭に村がルーターをお貸し

する方法等もあると思ひます。実践する学校の意見も聞きながら、もつとも村の学校に合った方法を検討してまいります。

補正予算議案

予算関係について

▼意見 診療所のX線画像診断システムの導入にあつては、近年の医療機器は広範囲に渡って頻繁に格安のものが開発されており、限定したものとならない選定方法を検討すべきである。

▼回答 今回のシステムの購入にあつては、メーカーを限定することなく、入札審査会で審議しながら対応してまいります。

◎令和3年第4回議会定例会において賛否が分かれた議案の表決

議席番号	議員名								議決結果	
	1	2	3	4	5	6	7	8		
陳情第4号	伊藤 秀明	佐藤 真二	武石 辰久	齊藤 鉄子	萩野 芳紀	河村 良満	北林 義高	伊藤 敏夫	議	不採択
陳情第5号	伊藤 秀明	佐藤 真二	武石 辰久	齊藤 鉄子	萩野 芳紀	河村 良満	北林 義高	伊藤 敏夫	議	不採択

○：賛成 ×：反対 議：議長（裁決に加わりませぬ。）

第5回臨時議会
10月20日(水)

第5回臨時議会が開催され、総額35万3千円を増額する一般会計補正予算と契約議案が提案され、どちらも全会一致で可決しました。

一般会計補正予算

歳入

・土地売却収入 35万3千円増額

歳出

・旧教職員住宅解体工事 186万7千円減額
・高速カープリンター 354万3千円減額
・減債基金積立金 576万3千円増額

契約議案

・南沢橋補修工事請負 株式会社 佐藤庫組 (北秋田市)
・契約相手方 佐藤庫組
・契約金額 4840万円